

12月定例会
一般質問

横芝光町の町政を問う！



市原 成一 議員・・・P5

- ◆こどもファーストを意識したこども計画の策定予定は
- ◆こども達の歓声が聞こえる町公園の遊具整備を
- ◆将来人口に危機感を持ち健全財政の堅持を

内田 美穂 議員・・・P6

- ◆校内教育支援センターの設置について
- ◆ICT環境の整備状況について
- ◆学びの多様化学校設置について
- ◆横芝光町の目指す教育について



森川 貴恵 議員・・・P7

- ◆町長の政治姿勢について 今期四年間を振り返って
- ◆新型コロナウイルス感染症予防ワクチンの今後について
- ◆自転車と歩行者の安全確保について

宮菌 博香 議員・・・P8

- ◆合併時から人口は4,139人減少
- ◆町道I-7号線（寺方地先外）は令和10年度完成予定



秋鹿 幹夫 議員・・・P9

- ◆当町でも被害が急増しているイノシシ対策について
- ◆防護柵設置補助金の創設を
- ◆イノシシに遭遇した際の対応策
- ◆町や学校での避難訓練の機会に周知してはどうか

川島 富士子 議員・・・P10

- ◆学校教育における更なる電子黒板（大型掲示装置）の導入を
- ◆男性のHPV感染対策（HPVワクチン接種助成）を
- ◆千葉県がん患者アピアランスケア支援事業の活用を
- ◆物価高騰・経済対策について、重点支援地方交付金の活用を



山崎 義貞 議員・・・P11

- ◆町長公用車の運用基準について
- ◆食料自給率向上にむけ耕作放棄地解消の取り組みについて
- ◆自主防災組織作りの取り組みについて
- ◆带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

すべての子が安心して過ごせる

学校づくりを

目標を長期欠席児童の減少から 心の居場所づくりに変えました



内田美穂 議員

Q 令和4年度の不登校児童生徒数及びいじめの認知件数が過去最多となったことを受け、国は不登校いじめ緊急パッケージを発出し、その中で「落ち着いた空間で学習・生活ができる環境を学校内に設置すること」としていますが、当町の設置状況は。

A 町内の両中学校においては、校内教育支援センターは設置済み、小中学校では不登校支援教員が配置されていないため、当該施設は未設置です。今後県に加配教員の配置を要望してまいります。

要望 設置しているだけで安心して過ごせる場所となっていないとは限らな

Q いので、学校らしく見えな

A い工夫や、周りの視線を気にせず入りやすいなどの工夫をして、より安心して過ごせる場所となるよう努めて頂きたいです。

要望 設置しているだけで安心して過ごせる場所となっていないとは限らな

Q 国は、学びの多様化

A 学校の設置推進を図っていますが、今後当町において設置を検討する予定はありませんか。

要望 国は、学びの多様化

Q 国は、学びの多様化

A 学校の設置推進を図っていますが、今後当町において設置を検討する予定はありませんか。

要望 国は、学びの多様化

Q 国は、学びの多様化

A 学校の設置推進を図っていますが、今後当町において設置を検討する予定はありませんか。

要望 国は、学びの多様化





森川貴恵 議員

町長は町民の声や要望に どのように応えてきたか

町長への手紙や行政総務員を通して 伺っています

町長の政治姿勢について

今期四年間を振り返って

Q 無投票当選結果をどう見たか

A 有権者が候補者を通じて政策的な選択をすることにより、民意が反映され、投票によって意思を伝えるべきと考えていますが、無投票当選は投票で選ばれる以上の重みと責任があり、「選ばれるまち」となれるよう各種施策を推進してきました。

し、町民の皆様にはご理解をお願いします。

Q 今後の町民の政治意識や投票率向上についての所見は

A 全国的に無投票当選や投票率の低下について問題視する意見が多くなっています。特に、若い世代において関心が低くなっていることから、昨年度より二十歳を祝う式典実行委員の皆様と町の施策についての意見交換会を行っています。

Q 今期成し遂げた事業、その成果や反省すべき点は。

A 横芝光消防署の建て替え、横芝小学校の建て替え、横芝駅のエレベーター設置、公共交通の充実を行うことができました。事業完了には時間を要するものもあり、今期中中に完了できなかった施策もあることに対して、企業立地促進条例の

Q ゼロカーボンシティーよこしばひかり宣言の進捗状況は

A 公用車として令和3年度に電気自動車を2台、今年度は電気自動車を1台とハイブリッド車を1台購入しました。町民に対しては「住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金」制度を設け、太陽光発電を活用した住宅用蓄電池やV2H充放電設備等の設置に対する補助を行っています。また、企業立地促進条例の

改正を行い、指定企業に対して新設または増築した事業所の敷地に設置した太陽光発電設備についての補助制度を設けました。

Q 町長自身が行っている対策は

A 強いてあげれば、ハイブリッド車に乗ったり、徒歩で行けるところは徒歩で行ったり、もともとは細かいところは、細かいのでしっかりやっているつもりです。

Q 今後の持続的取り組みは

A 接種体制につきましては、接種希望者の対応しています。

Q インフルエンザなどの同流行への取り組みは

A 新型コロナウィルスをはじめとしたさまざまな感染症の発生状況等について注視し、県が取り組んでいる医療提供体制等について、町ホームページ等で周知啓発していきます。

Q 歩道の整備と安全確保はどのようにされるのか

A 歩道と車道の間には歩車道境界ブロックを設置します。幅員が狭小である道路については、必要に応じて車道の端にゴム製のポールを設置し、歩行者と車が近づきすぎないように対応しています。

一般質問

粟嶋橋が開通して10年が経過しても 町道1-7号線の進捗率は22%

住民の理解を得ながら 道路整備の推進に努める



宮 蘭 博 香 議員

Q

当町は平成18年3月27日に合併、合併時の人口は26,562人でしたが、令和5年10月1日には22,423人で4,139人減少しました。出生数も平成18年には163人いましたが、令和4年には89人しかおらず、合計特殊出生率も1.15ありましたが、1.09まで下がってしまいました。参事までに千葉県は1.18、全国は1.26という状況になっています。小学校入学者数におきまして平成18年度には247人いましたが、令和4年度には136人と100人以上も減ってしまいました。一方、準要保護児童生徒数は

平成19年度には82人だったのが、令和4年度には111人になり、児童生徒数が激減しているにもかかわらず29人も増えているなど異常な状況にあります。また、平成18年度当初予算は86億9,500万円でしたが、令和4年度には115億6,300万円に膨れ上がりました。当町の標準財政規模は70億円弱となっています。また、平成20年度には0.57あった財政力指数は令和4年度には0.45まで落ち込んでしまいました。今後は自主財源の確保を図ることが必要と思われまます。そこで、人口減少対策や自主財源の確保を図るために横芝中学校校跡地

については、若者の定住対策として、土地については30年を一区切りとして無償で貸し出しをし、希望者の負担により家を建築していく旨の許可を与え、定住させる制度を確立してはどうか、また、道路整備についても全体的に計画よりもかなり遅れている状況にあります。特に、粟嶋橋が完成してから10年が経過しますが、町道1-7号線(寺方地先外)の進捗率は約22%で完成予定年度は令和10年度ということですが、なぜこのような状況になってしまったのか、町長にお伺いします。

学校プール跡地活用事業の効果や影響などを見たうえで、宮蘭議員の意見を参考に、どのような活用が町の発展にとって有効なのかという観点から検討したいと考えています。また、道路整備については、交付金の配分などの歳入状況や道路予定地の相続が完了していないなど用地交渉が難航していることもあり道路整備の進捗が遅れているところと見えます。どの路線も町の発展のためには重要な道路でありますので、早期に主要道路が完成できるよう住民の理解を得ながら道路整備の推進に努めてまいります。

A

旧横芝中学校校跡地については、旧横芝中



▲町道1-7号線

- ※その他の質問
- 町長の政治姿勢について
 - ・企業誘致の推進
 - 小学校の跡地利用について
 - ・上堺小学校と日吉小学校の跡地利用
 - 東陽病院について
 - ・現在の運営状況
 - ・土・日曜日及び祝日の面会



秋鹿幹夫 議員

被害が急増するイノシシへの対策を

電気柵支援や避難訓練を検討

Q 農作物への対策としては、電気柵や防護柵を設置することによって、一定の効果を確認されている。これらに関する設置補助金の創設を。

A 町では猟友会と協力して、くくり罠や箱罠による捕獲を通年で行っており、加えて侵入防止対策としての電気柵の支援を検討しているところで、効果的な対策のためには捕獲や侵入防止のみならず、収穫残渣などによる餌付けをなくす、隠れ場所をなくすといった地域ぐるみでの対策が必要です。

得ない場合に行うものもある。落ち着いた行動をとれる様に、避難訓練の機会に周知してはどうか。

A 当町において、イノシシの目撃報告や足跡、作物被害等の情報は寄せられていますが、幸いにして現在までに人的被害は発生しておりません。イノシシによる被害の未然防止を図るため、遭遇した際の対処方法などを町ホームページや防災行政無線などで周知し、注意喚起を行っております。この他にも、耕作放棄地や荒地の草刈り管理を行い、イノシシが身を隠せる場所を無くすことや、餌となるような生ごみ等を畑や民家周辺に投棄しないことなど、地域住民が一体となつて「寄せ付けない」対策を行うことも必要となります。このことから、「避難訓練」など、多くの住民が参加する行事等を活用し、広く啓発活動を行うことは有効な手段の一つであると

思われますので、今後検討していきたいと考えております。

Q 人的被害が発生する前だからこそ考えていくべき事である。早急に進めて頂きたい。その他、保護者からの意見で、学校等で子供達に対しても、機会を設けて周知する事も良いのではないかとこの声がある。街中でイノシシが現れてしまい、警官がさすまでで応戦していたニュースも取り上げられていたが、当町で発生する可能性もある。町の認識は。

A 目撃情報が入りましたら、各学級の帰りの会などで対応策について説明してまいりたいと思っております。

要望 目撃情報は既に防災無線等で周知されておりますので、直ぐに検討して頂く事を要望します。



※その他の質問

- 地域振興について
 - ・横芝駅北口開発計画の進捗は
 - ・駅開発と同時に、栗山川堤防を利用した空港直結道路要望を
 - ・『新しい成田空港』構想検討会の委員に町長が入り、参画していく事は出来ないか
- 学童保育について
 - ・施設面積を拡充する考えは
 - ・職員の負担軽減に関する考えは
- 自治体DXの推進について
 - ・DX（デジタルトランスフォーメーション）導入後の取り組みは
 - ・情報格差の解消に向けた取り組みは

重点支援地方交付金の活用を

物価高騰対策のために

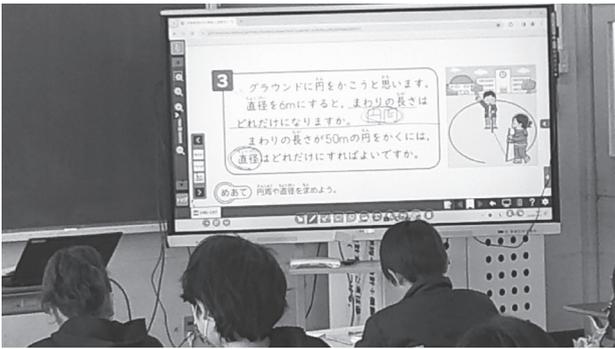
早期の予算執行が必要



川島 富士子 議員

Q 学校教育におけるICT活用推進について、更なる電子黒板（大型掲示装置）の導入を。

A 令和2年度に導入した児童生徒1人1台端末や高速大容量の通信環



境の下で新しい学びがスタートしており、電子黒板は、「移動式」を採用し、小学校には1校当たり3台から9台、中学校には9台を配備しております。現在、

は男性にも感染し、咽頭がん・肛門がん・陰茎がん等の発症に關与すると言われております。男性のHPVワクチンは、現在、定期接種の対象とはなっておりま

担が大きいため、医療用かつら（ウィッグ）や胸部補整具を装着することで、社会参加や生活の質の向上を図ることが期待できます。市町村が購入等費用の一部を助成する事業を行った場合、県から補助金が交付されます。今後、当町における助成制度の実施を検討してまいります。

から9台、中学校には9台を配備しております。現在、

種の対象とはなっておりませんが、男性にも接種すること、HPV感染への予防効果が期待されることから、周知してまいります。

市町村が購入等費用の一部を助成する事業を行った場合、県から補助金が交付されます。今後、当町における助成制度の実施を検討してまいります。

全ての普通教室に「埋込式」の電子黒板を整備します。令和3年度から国におけるデジタル教科書の実証実験が開始されており、当町ではデジタル教育を推奨し、ICT機器の活用・整備に努めてまいります。

優しさあふれるまちづくりについて、千葉県がん患者アピランスケア支援事業の活用を。

アピランスケアとは、がんの治療を受けている方が治療内容等により、頭髪等の脱毛、皮膚や爪の変化、乳房切除等でアピランスいわゆる外見の変化により、心理的な負担が大きい

備に努めてまいります。

アピランスケアとは、がんの治療を受けている方が治療内容等により、頭髪等の脱毛、皮膚や爪の変化、乳房切除等でアピランスいわゆる外見の変化により、心理的な負担が大きい

重点支援地方交付金については、内閣府から年内の予算化に向けた検討をいただきたい旨の通知が発出され、早期の予算執行が物価高騰対策のため必要と考えられるた

Q 優しさあふれるまちづくりについて、男性のHPV感染対策（HPVワクチン接種助成）を。

アピランスケアとは、がんの治療を受けている方が治療内容等により、頭髪等の脱毛、皮膚や爪の変化、乳房切除等でアピランスいわゆる外見の変化により、心理的な負担が大きい

重点支援地方交付金については、内閣府から年内の予算化に向けた検討をいただきたい旨の通知が発出され、早期の予算執行が物価高騰対策のため必要と考えられるた

A ヒトパピローマウイルスいわゆるHPV

アピランスケアとは、がんの治療を受けている方が治療内容等により、頭髪等の脱毛、皮膚や爪の変化、乳房切除等でアピランスいわゆる外見の変化により、心理的な負担が大きい

重点支援地方交付金については、内閣府から年内の予算化に向けた検討をいただきたい旨の通知が発出され、早期の予算執行が物価高騰対策のため必要と考えられるた

※その他の質問

○優しさあふれるまちづくりについて

- ・児童福祉法改正で示された訪問家事支援（産後ドゥーフ）の導入を



山崎 義貞 議員

町長公用車の使用基準は

社会通念上 認められるか否かで判断

Q 町長公用車の明確な運用基準がありません。運用基準の作成を求めるのですが、町民誰もが納得できる基準を示すことが必要ではないか。

A 当町では、町長公用車の運用基準は定めてませんが、公務の遂行上、町長車の使用が必要な場合には、その使用により当該公務が円滑かつ安全に遂行でき、町の政策実現に寄与し、公益の増進に資するとともに、社会通念上認められるか否かで判断しているところです。

をはるかに下回っています。そして、下がり続ける農家所得と反比例に、荒廃農地が増え続けています。耕作放棄地解消の取り組みは、

A 食料の安定供給、食料自給率の向上を図るためには、優良農地を確保するとともに、耕作放棄地を有効活用することが必要です。担い手農家に農地の集積が進んでいるところ

者や周辺の耕作者に働きかけていただいているところ

Q 大規模な災害が発生したときに、互いに協力し合う事によって、被害の軽減を図ることができ

るのが自主防災組織です。組織数の引き上げ支援は、

A 自主防災組織設立に向けた相談窓口の開

設や、設立に係る費用等について1団体当たり50万円を上限とした補助金の交付を行っています。引き続き

自主防災組織の重要性の周知及び町広報紙や町のホームページを活用した設立の呼びかけなど設立に係る施策を実施していきたいと考えています。

Q 全国280の自治体で帯状疱疹ワクチン接種費用の助成をしています。千葉県の自治体でも全額助成から一部負担まで行う自治体が増えて

います。ワクチン接種費用の助成制度を。

A 帯状疱疹ワクチン接種への費用助成は県内9市町が助成制度を設けていることは把握して

いますが、補助対象のワクチンが、生ワクチンと不活化ワクチンの両方の場合や不活化ワクチンのみの場合があり、また補助金額にもばらつきがあります。今後の国や県の動向に注視しながら、引き続き調査研究していきます。

Q 日本の食料自給率は38%を切っています。1960年79%あった自給率は2000年には40%まで落ち込み、稲作経営農家の時給は、2020年に181円、21年は10円で、他産業の時給

を含めた南条地区で、土地改良区や県と協力しながら地域と話し合いを進めています。また、耕作する方がいなくなり、遊休化した農地の荒廃が進む前に、各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員の方々が地権

